

特集

研究を社会に伝える

「心理学」の文字を書店、ニュースサイトや動画サイト、SNSなどでもよく見かけます。世の中にはいろいろな心理学があり、多くの人に関心を持っています。心理学を科学として行っていくためには、その研究知見を積極的に公開し、心理学者だけのものにするのではなく、広く社会に発信し、情報を共有することが必要です。しかし一方で、社会において心理学の研究知見が歪んだ形で理解されたり利用されたり、心理学者自身が誤解を招くような発信を行っていたりすることもあります。

本特集では、社会への心理学の伝え方について、マスメディアやSNSにおける問題、一般人を交えたワークショップやアート活動、そしていわゆる研究論文の発表についても最新の状況を紹介します。また、近年話題となっている科学者と社会との関係や現在の状況について、日本版AAAS (American Association for the Advancement of Science) とも呼ばれる日本科学振興協会の活動目標も合わせて紹介します。この特集が、心理学を取り巻く状況について理解し、より良い社会への伝え方を考え、実践していくきっかけになることを期待しています。

(北崎充晃)